

## 令和5年度 事業報告

### はじめに

令和6年1月1日夕刻に発生した、能登半島地震により、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます

昨年は、2020年から続いた新型コロナウイルス感染症の拡大沈静の繰り返しは、昨年5月から「5類感染症」に位置づけられたことにより、感染対策は引き続き自主的な取り組みを基本としつつも3年ぶりに行動制限のない活動が始まりました。

日本経済では、アメリカの金融引き締め長期化などにより円安が進むと同時にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長期化していることなどが原因で、特に輸入品目の価格上昇など多大な影響を及ぼしたほか、建設業界においても建設資材や燃料価格の高騰により工事の採算が悪化するとともに鉄鋼等一部資材の品薄により工事の進捗が遅れるなど逆風が吹いた一年となりました。

自然災害では、当協会管内においては大規模な災害の発生は見られませんでした。6月の豪雨や台風の襲来により、東北、北陸、九州南部などを中心に大規模な災害が発生しました。地球温暖化の影響などにより、これまでも増して豪雨の発生頻度が多くなることが予想されていることや南海トラフ地震等など大規模災害が発生するリスクは依然として高い状況となっており、森林の災害防止機能をより一層高度に発揮させることが求められています。

一方で、我が国の人口の減少・高齢化が加速する中、建設業界は、就業者数の減少傾向と同時に他の産業と比較しても高齢化の進行も早いことから、技能労働者など人手不足が深刻な状況となっており、若い世代の担い手を確保していくことや外国人材の受入れを進めていくことも重要とされています。

このため、労働環境を向上させて労働者が働きやすい環境をつくることが重要であり、林野庁では山間奥地の厳しい施工条件下でも適正な利潤を確保する森林土木工事の発注や、生産性の向上を図り担い手を確保するための働き方改革などを推進し、魅力的な工事へ転換していくため「選ばれる森林土木」に向けて取り組んでいます。

名古屋林業土木協会では、全ての会員企業が、コンプライアンスを遵守し発注者との良好な関係を構築し、公共工事の品質確保、労働安全の確保、各種技術の研鑽、企業の社会貢献活動などを通じ、山村地域の振興、林業土木事業の促進に寄与することを目的として、理事会で承認され総会で報告した事業計画に基づき、理事会はもとより、コンプライアンス委員会、安全・技術対策委員会、環境・社会貢献委員会及び青年部による組織的な企画・立案と実行を通じて、各支部、各会員が一体となって取り組んできましたので以下報告します。

## 1 「防災・減災、国土強靱化対策」の推進への協力

### ① 発注工事の適正な受注に向けた取組

国土強靱化対策の推進に伴い公共事業予算は各省庁で増加し、工事発注件数が増加する中、円滑な執行に向けて発注者からも協力要請があり、協会としても協力していくこととしていますが、国土強靱化対策と災害復旧工事等が重なり地域によっては技術者や労働力の不足により入札不調となる工事も発生しました。

協会は、会員へ積極的な応札を呼びかけるとともに、入札不調工事を出さないためにも、発注情報の早期公表と「適正な利潤の確保」について発注機関へ要望しました。また、会員が提出した改善要望事項に対し森林管理署等の担当者との意見交換会を開催し、受発注者間のコミュニケーションと課題の解決を図るとともに改善困難な事項は合同委員会の中で森林管理局より回答を頂きました。

今後も引き続き、それぞれの現場実態あった適正な設計積算など要望・意見交換を行い、こうした機会を踏まえて、発注者、受注者双方が共通の認識に立ち効果的・効率的な事業実施を目指して取り組む必要があります。

### ② 国有林防災ボランティア活動等

ア) 令和5年は、名古屋協会内の国有林においては幸い大規模な豪雨災害等の発生は見られず「国有林防災ボランティア協定」に基づく防災協力の要請はありませんでしたが、東海地方に6月に接近した台風2号や8月に接近した台風7号通過後など警報発令後、各会員の自主的な防災ボランティア活動により被害情報の収集等に努め、会員企業2社、延べ9人が出動し国有林内を主体に被害状況の把握などを行い関係森林管理署へ報告しました。

イ) 国有林防災ボランティア協定に基づく会員登録の更新に取り組みました。

### ③ 緊急応急工事対象者公募への対応

災害発生時に迅速な対応ができるよう、中部森林管理局における緊急応急工事対象者公募に対し、会員の積極的な応募を働きかけ43社が登録を行いました。

### ④ 中部防災推進ネットワークへの参加

南海トラフ地震など巨大自然災害が懸念される中、中部圏における「業界団体」間の共助を促進し、合わせて「ボランティア団体」「地縁組織」「行政組織」との協働を図り、広域的な災害対応の実現を目指すことを目的とし設立された中部防災推進ネットワークでの勉強会等に参加し防災対策の情報収集活動を行いました。

## 2 森林・林業社会貢献活動の取り組み

林業土木事業の活性化を通じた地域振興に向け、掲示板による事業のPRをはじめ、社会貢献活動の一環としての安全・安心な地域づくり及び国有林を地域が活用し地域振興に取り組むレクリエーションの森制度に協力するなど、山村地域の振興に向けた取り組みを実施しました。また、その取り組んだ活動内容は協会ホームページにより広報しました。

### ① 林業土木事業の活性化を通じた山村地域の振興

- ア) 掲示板によるPR 5回
- イ) 新聞紙面への広告 2回

### ② 森林空間を利用した事業へのボランティア活動

実施日	行事名等	実施場所	関係支部	参加者
5月30日 ～6月14日	国有林ゴミゼロ活動 (金華山、付知峡、卯の花街道)	岐阜、中津川、高山市	飛騨4支部、小坂、岐阜、東濃3支部	66名
6月12日	宮の大イチイ遊歩道整備外	高山市	久々野高山支部	16名
6月29日	平湯大ネズコ歩道整備外	高山市	神岡支部	6名
7月25日	大白川「白水の森」整備外	高山市	荘川支部	9名
8月1日	北アルプス登山道への清掃外	上宝村	神岡支部	9名
8月10日	岩村城趾・岩村国有林清掃外	恵那市	東濃3支部	17名
8月25日	白草山登山道の整備外	下呂市	小坂支部	18名
9月2日	白木峰登山道への林道整備外	飛騨市	古川支部	12名
10月11日	定光寺自然休養林遊歩道整備	瀬戸市	愛知支部	11名
10月18日	「川浦溪谷」周辺清掃作業	関市	岐阜支部	13名
11月14日	防風林(大沢野国有林)清掃活動	富山市	熊の人的被害のため中止	
12月15日	古城山遊歩道整備	美濃市	岐阜支部	11名

### 【参考】

令和5年3月 森林・林業社会貢献活動感謝状授賞状況 <令和4年度における活動が対象>  
 局長感謝状 団体部門：協会(1) 署長等感謝状 団体部門：協会(1)支部(2)  
 企業部門：4社(5) 企業部門：1社(1)

※( )は感謝状の全体数

### 3 労働安全の確保及び技術向上への取り組み

5月24、25日、高山市の飛騨・世界生活文化センターにおいて「企画展示室」2会場を借り上げコロナ感染症防止対策を講じ、林業土木技術講習会を開催しました。講師、スタッフ含め154名が参加しました。

11月6、7日には、令和5年度林土連技術現地研修会が仙台市において開催され名古屋協会からは7名が参加しました。

また、各研修会では労働災害防止に向けた内容も含めるとともに、労働基準監督署や森林管理署とも連携した合同安全パトロールの実施や安全標語を募集し”安全のぼり“を作成するなど安全活動意識の向上と啓蒙に取り組みました。

#### ① 現場における技術向上等に向けた研修会等

実施日	研修名等	実施場所	森林分野 CPD等	参加者
5月24、25日	林業土木技術講習会	高山市	CPD:14単位 CPDS:14ユニット	154名
6月27日	林野庁キャラバン	長野市	—	14名
6月30日	「新技術・新工法」発表会	長野市	—	9名
7月26日	治山林道技術研修	恵那市	4単位	23名
7月28日	治山・林道技術研修	魚津市	4単位	16名
8月2日	治山・林道技術研修	下呂市	4単位	18名
10月3日	治山・林道技術研修	関市	4単位	11名
10月6日	治山・林道技術研修	高山市	4単位	27名
10月24日	青年部研修会	名古屋市	4単位	30名

#### ② 現場における安全指導等

実施日	研修名等	実施場所	関係支部	参加者
7月26日	安全パトロール&安全会議	恵那市	東濃3支部	23名
7月28日	安全パトロール&安全会議	魚津市	富山支部	16名
8月2日	安全パトロール&安全会議	下呂市	小坂支部	18名
10月3日	安全パトロール&安全会議	関市	岐阜支部	11名
10月6日	安全パトロール&安全会議	高山市	飛騨4支部	27名
10月27日	安全パトロール	中津川市	東濃3支部	15名
12月12日	安全パトロール	豊橋市	愛知支部	12名



③ 森林管理署等との意見交換の実施

実施日	森林管理署等	実施場所	関係支部	参加者
3月7日	富山森林管理署	監督員と支部会員	富山支部	14名
5月16日	岐阜森林管理署	署幹部と支部会員	小坂支部	11名
10月12日	飛騨森林管理署	監督員と現場代理人	飛騨4支部	32名
11月30日	岐阜森林管理署	署幹部と支部会員	岐阜支部	9名
12月12日	愛知森林管理事務所	関係職員と支部会員	愛知支部	16名

4 協会運営

定時総会、理事会を基本とした運営に加え、安全・技術対策委員会、環境・社会貢献委員会、コンプライアンス委員会および青年部の各組織が連携し、組織的に取り組んできました。

【総会・理事会関係】

実施日	会議名	実施場所	内容等
1月12日	三役会議	長野市	協会運営等（中部局へ年始の挨拶）
2月15日	第1回理事会	名古屋市	総会議案書関係
3月14日	第57回定時総会 第2回理事会	名古屋市	会員60名全員（委任状17名）同意の意思表示が示され法第58条第1項の規程により提案された議案が可決
5月9日	第3回理事会	長野市	林業土木技術研修会等関係 コンプライアンス委員会
9月12日	第4回理事会	高山市	技術現地研修会等
12月19日	第5回理事会	名古屋市	5年度決算見込み、6年度事業計画等

【安全・技術対策委員会、環境・社会貢献委員会関係】

実施日	会議名	実施場所	内容等
4月26日	第1回合同委員会	名古屋市	委員会活動方針等
12月19日	第2回合同委員会	名古屋市	改善要望事項について中部森林管理局担当官から回答及び意見交換ほか

## 【青年部関係】

実施日	会議名	実施場所	内容等
2月1日	第1回役員会	名古屋市	総会議案提案書について
2月7日	令和5年度総会	名古屋市	3年ぶりに集合形式で開催。活動方針等について全部員が賛同
4月17日	第2回役員会	名古屋市	青年部研修会について
8月30日	第3回役員会	名古屋市	研修会内容等検討ほか
10月24日	青年部研修会	名古屋市	名古屋市「郷土の森」環境整備と中部森林管理局局長講話
12月1日	第4回役員会	富山市	青年部総会議案書等について

## 5 コンプライアンス活動の取組

名古屋林業土木協会では、第48回定時総会(2014年)において発注者・受注者の立場で“よりよいパートナーを目指して”をキャッチフレーズとして取り組みことを決議し、現場技術者が共通の認識を持ち、互いの信頼関係の下、「現場のことは現場で解決する」といった気運を高めることを目的にコンプライアンスを重視しつつ意見交換を行うなど適切な対応に取り組んできました。

しかし、令和2年に他の協会の林土連会員企業が関与する収賄事件が2年連続して発生したことを踏まえて、令和3年3月、新たに「コンプライアンス委員会」を設置して同様な事件が発生することがないように不適切事案の未然防止などコンプライアンス活動に取り組むこととしました。

昨年は、5月9日に第1回のコンプライアンス委員会を開催し、取組報告と令和5年度の実施計画を決定するとともに、5月に開催した林業土木講習会において中部森林管理局 北村 大森林整備課長から、12月に開催した合同委員会において中部森林管理局 高橋 東 次長から、それぞれ発注者綱紀保持対策に関する取り組みについて指導をいただきました。このほか、各支部で開催した森林管理署等との意見交換会において署等の幹部から発注者綱紀保持対策について指導(3/7 富山、5/16 小坂、10/12 飛騨、11/30 岐阜、12/12 愛知)をいただき、定期的に会員のコンプライアンス意識の向上に努めました。